

会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（3月定例会）会議録
開催日時	平成30年3月19日（月）16時15分から17時50分まで
開催場所	保谷庁舎4階 研修室
出席者	委員：木下副議長、川原委員、攝賀委員、沼本委員、長谷川委員、 服部委員、原委員、矢野（真）委員、 事務局：神田係長、奥住主事 傍聴：1名
議題	(1) 平成29年度社会教育関係団体補助金について (2) 放課後子供教室事業について (3) その他
配布資料	資料1 平成29年度社会教育関係団体補助金交付確定額 資料2 放課後子供教室事業の今後のあり方について（提言）案
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>●平成30年2月の定例会議の会議録について、承認する。</p> <p>（1）平成29年度社会教育関係団体補助金について</p> <p>●事務局より、資料1に沿って報告及び説明。</p> <p>○副議長：補助金確定額について、了承してよろしいか。</p> <p>○全委員：（異議なし）</p> <p>○副議長：それでは承認とする。</p> <p>（2）放課後子供教室事業について</p> <p>●事務局より、資料2に沿って報告及び説明。</p> <p>○委員：起草委員会では、前回会議で指摘のあった部分について修正し、全体的なバランス等を調整した。4ページ「（2）課題」では、西東京市の放課後子供教室の現状をふまえ、テーマを3つに絞り、部会に分かれて検討したことを追記した。また、課題解決策を書く前提として、それに対応する課題は書き込まれているかの整合性を確認する作業が必要という意見が出て</p>	

いる。今後の方向性や解決策については「3」で書く予定である。

- 委員：前回の修正箇所が整理されているので、この内容で良いと思う。
- 委員：文章をより具体的に理解ができるよう言い回しを考えたい。
- 委員：学習活動の機会という言葉は丁寧に説明するのが良いと思う。
- 委員：今回の提言の前提は、現状から少しでも良い方向に向かうためのサポートとしてというものである。各校でこの事業を推進に向けた1歩を出すための条件整理であることを忘れずに検討を進めたい。
- 委員：1番大切なのは、5ページ「2」の部分だと思う。西東京市の場合、各学校で状況に合わせて実施しているところだが、行政が関わっての体制がない。他市を参考にすると、運営委員会を設けているところもある。全庁的な事業として、地盤をつくるべきだと思う。
- 委員：西東京市なりの運営体制の組織づくりが必要だと思う。
- 委員：やはり、放課後子供教室の運営委員会を設置する必要があると思う。
- 委員：行政側に放課後子供教室事業係を設置することが望ましいと思う。
- 委員：行政の機能強化のところだが、専門と専任では意味合いが変わってくる。ここでは専門が良いのではないか。
- 委員：児童館、児童センター等、他部署との連携について書く際は、確認や調整が必要だと思う。
- 委員：課題としている学校との連携についてだが、何をどう提言したいか議論すべきだと思う。学校施設の使用について、学校施設開放運営協議会(以下「運協」)と副校長間では連絡が取れていても、学校内部での伝達がうまくいかず、当日使用するはずだった教室が使えなかったケースもあるので、施設を借りる側の細やかな確認等が求められるのではないかと思う。
- 委員：連携の部分で、担当教員との直接交渉とあるが、混乱を防ぐためにも控えた方が良くと思うので、削除したほうが良いと思う。
- 委員：学校現場の意見を盛り込めたら良いと思う。
- 委員：6ページ「(2)①」に、以前の提言文中にある「学校側の理解と協力を得て、学校の実情に合わせて進めること」という文言を入れてはどうか。
- 委員：5ページ「2(1)①」の主語は行政ということか。
- 委員：そうである。
- 事務局：これまで、学校への事例紹介や説明及び交渉は、必要に応じて個別に対応しているところである。
- 委員：放課後子供教室のあり方として、長期的なものを想定しているのか、それとも近い将来についてなのかで解決策等は変わってくると思う。
- 委員：先進市の例を参考に検討することで、違った視点から解決策等が見えてくるのではないかと思う。
- 委員：他市と西東京市を比較して考えるのも面白いと思う。
- 委員：西東京市の放課後子供教室としての理想像と現状の差について議論すれば、課題等もより分かりやすくなると思う。
- 委員：事業内容についてだが、運協は学習活動の機会提供という名称にとらわれてしまっているのではないかと感じた。居場所の提供なので、必ずしも教室のようにしなければならないという決まりはない。捉え方の見直しをす

ることで、運協の負担感を少しは減らせるのではないかと思う。

- 委員：最近では、宿題をする時間が求められる傾向にある。自主学習の時間をもっと設けても良いと思う。
- 委員：放課後子供教室を社会教育で担うという点において、西東京市では何ができるのか、ふさわしいのかにたどり着くよう構成すると良いと思う。
- 委員：社会教育の視点からこの事業をみるとどうなのかについても書けると良いと思う。
- 副議長：意見をいただいた箇所については起草委員会で修正し、整える。小平市への視察があるので、その後、また議論をしたいと思う。

(3) その他

①定期総会について

- 事務局から説明。

○副議長：欠席する場合は、委任状を事務局に提出するようお願いする。

②小平市放課後子供教室視察について

- 事務局より説明。

○議長：それでは以上で社会教育委員の会議3月定例会を終了する。

※次回会議 平成30年4月16日(月)午後2時から